

ジェイハンス ③

それまで観光客数は4000万人で推移していたが、95年に阪神・淡路大震災が発生した。京都市観光調査年報によると、



山口弘子会長

が、地震の影響でそこから一挙に約500万人減少した。新たなみやげ物を探していた山口雅也社長は、弟が銀行からもち

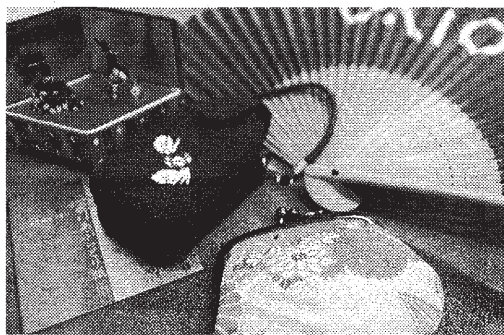
閉ざす感が出てくると京都を訪れる観光客数も減ってきた。観光客が減るとみやげ物の販売にも影響が出てくる。国際花と緑の博覧会（1990年）、平安建都1200年（1994年）など大きなイベントが開催され、客足が戻るかに見えたが、95年に阪神・淡路大震災が発生した。京都市観光調査年報によると、それまで観光客数は4000万人で推移していた

企業時代、ECストーリー

モノづくり

モノがたり

国産商品という最大の強みに気づく



ノベルティグッズや和雑貨

変えることに山口弘子会長も反対はしなかった。「世の中が違っていますでしよう。やり方も変えていかな」といけな

あぶらとり紙は、京都を中心に関西地区ではポピュラーな美容グッズであったが、当時はまだ全国区の知名度ではなかった。サンプルを東京の展示会に出すと良い反響があり、多くの企業があぶらとり紙を採用した。さらに扇子、風呂敷など扱い商品も増えていった。98年に「山宗千芸」から現在の社名に変更した。「日本の手仕事」という意味を込めて「ジェイハンス」とした。意外なことに、先代からの名前を

の気持ちが進められていまさらね」（山口弘子会長）。



品質の商品が届く。このプロセスが当たり前だと思っていた。商品を仕入れて数売る商売も必要です。しかし、私たちは物がつくり出せる。しかも国産。これが強みだとようやく気がついた

社名が変わっても『手づくり』の気持ち込め

（次号へ続く）